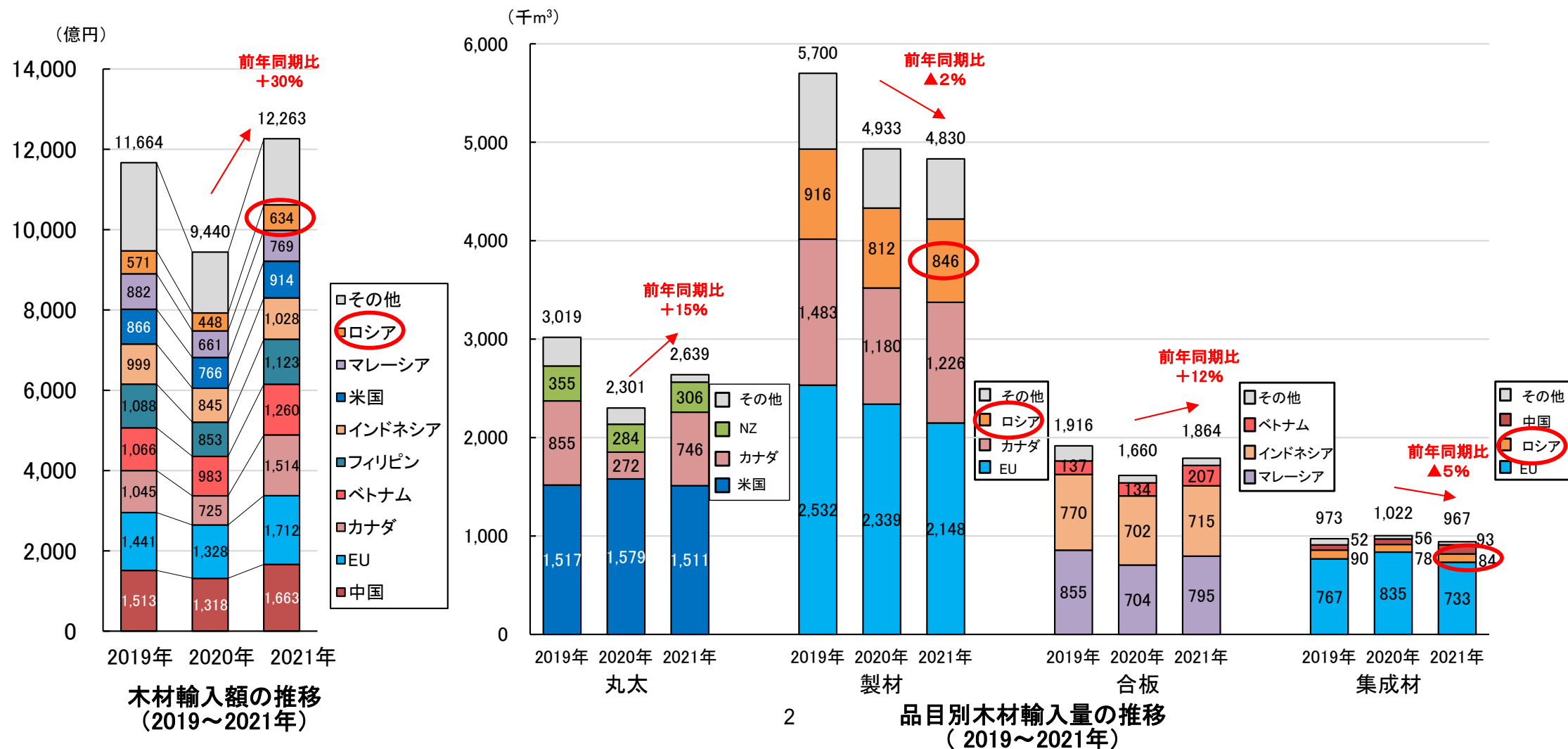


# ロシアからの木材輸入動向などについて

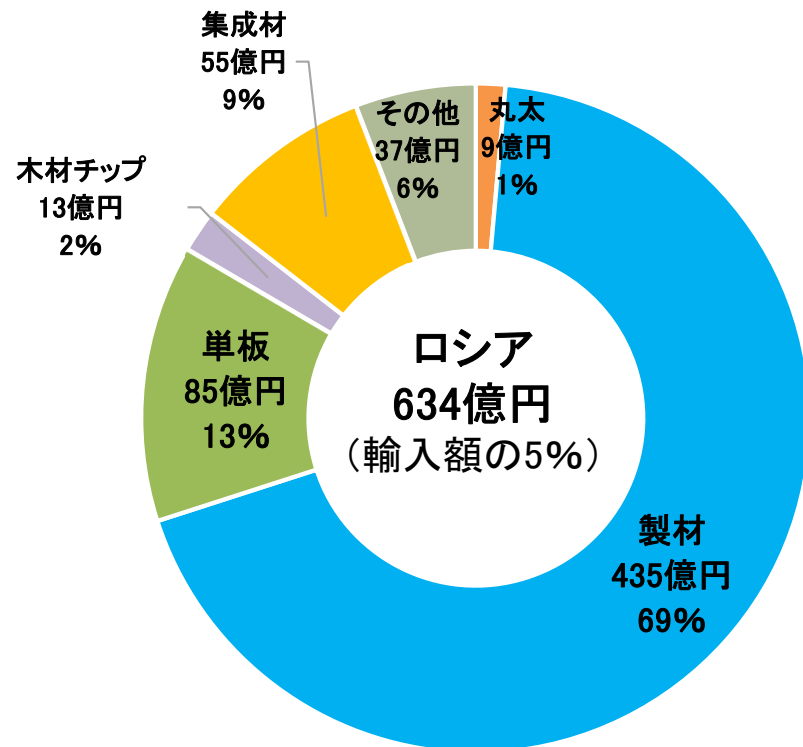
# 2021年の木材輸入実績

- 2021年1～12月の木材輸入額累計は、前年同期比+30%増の12,263億円。
- 品目別の輸入量累計を見ると、丸太が同+15%、合板が同+12%増加する一方、製材が同▲2%、集成材が同▲5%減少。カナダの丸太が増加する一方、EUの製材・集成材、米国の丸太が減少。
- なお、2019年同期と比較すると、2021年1～12月の木材輸入額累計は同+5%増加。品目別では、丸太が同▲13%、製材が同▲15%、合板が同▲3%、集成材が同▲1%と軒並み減少。

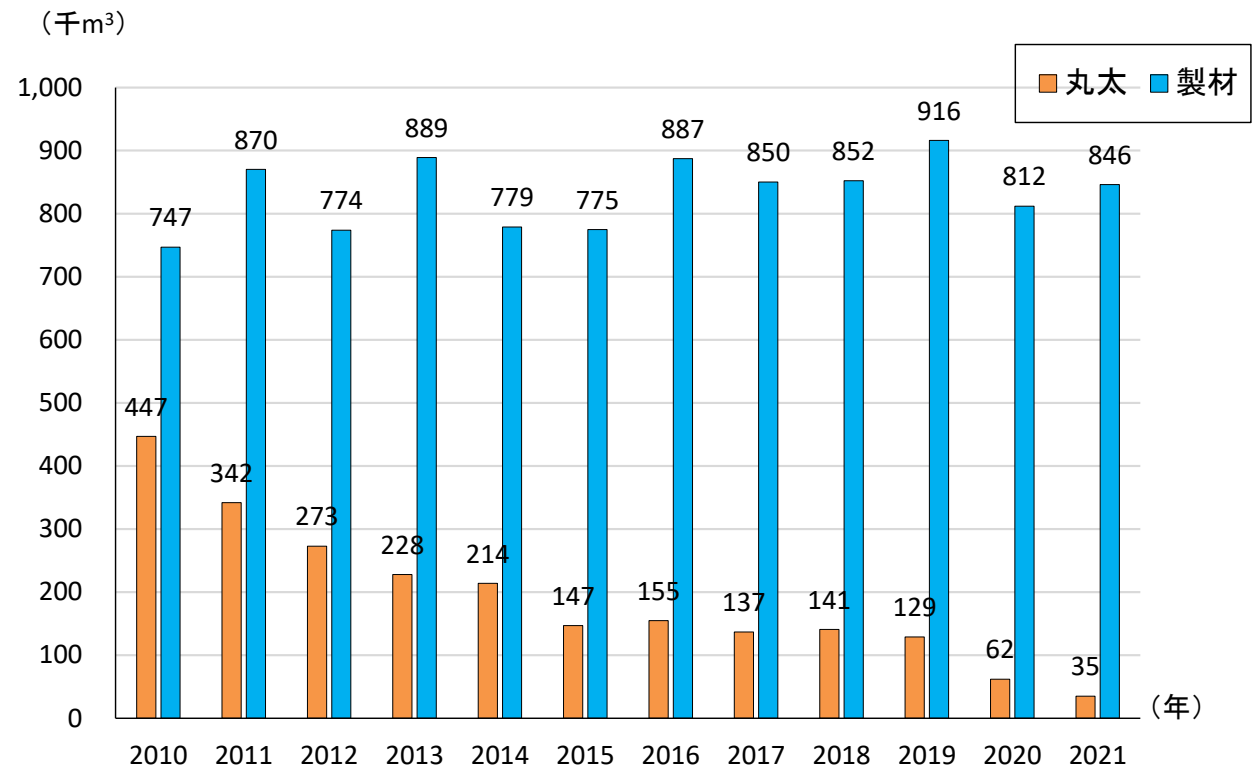


# ロシアからの木材輸入動向

- ロシアの丸太生産量は2.0億m<sup>3</sup>、製材生産量は4,180万m<sup>3</sup>(2020年)。
- ロシアからの木材輸入額のうち、製材が約7割、丸太が1%。国内加工業育成のための丸太輸出税導入により、丸太輸入量が大幅に減少する一方で、製材輸入量は概ね横ばい。
- ロシアからの製材輸入量(85万m<sup>3</sup>)は、我が国の製材輸入量全体の18%を占める。ロシア産の製材は、主に、タルキや下地材等の羽柄材に使用。
- 2022年1月から、未加工の丸太と粗く加工された木材の輸出を禁止。また、10cm×10cmを超える未乾燥の製材に高率(200ユーロ/m<sup>3</sup>)の輸出税を賦課。

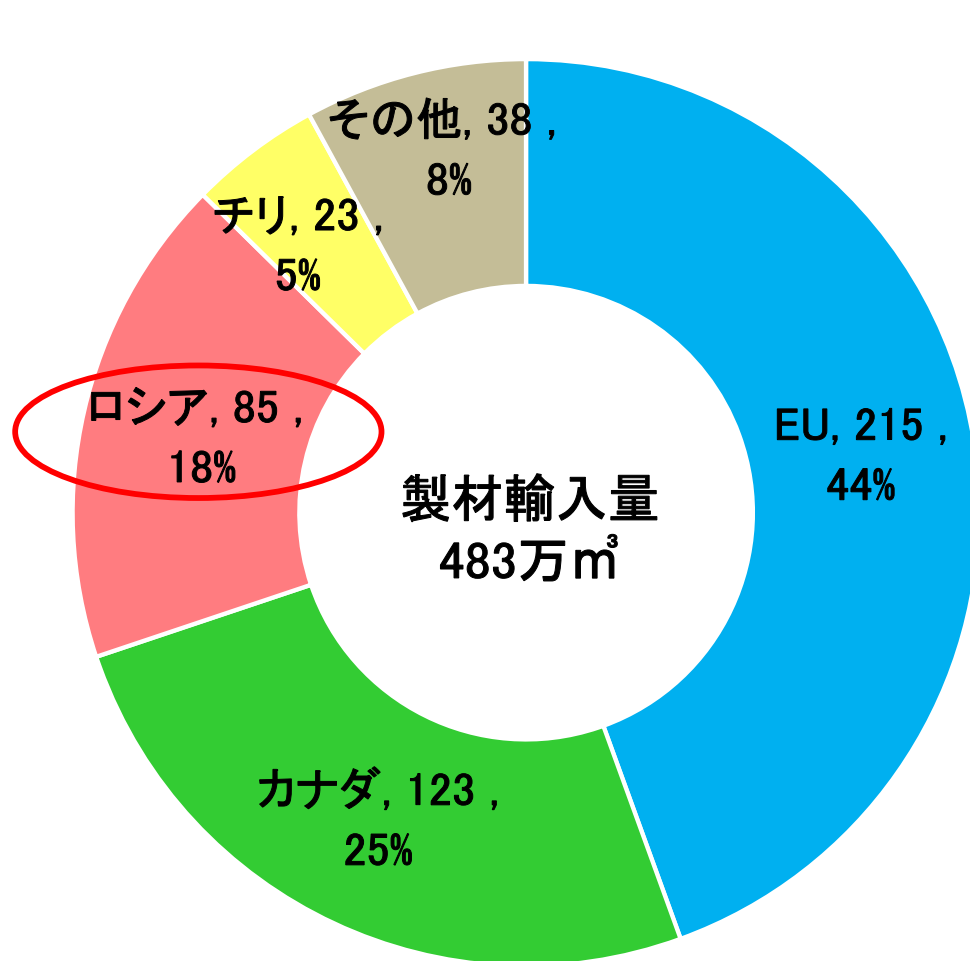


ロシアからの輸入額(2021年)

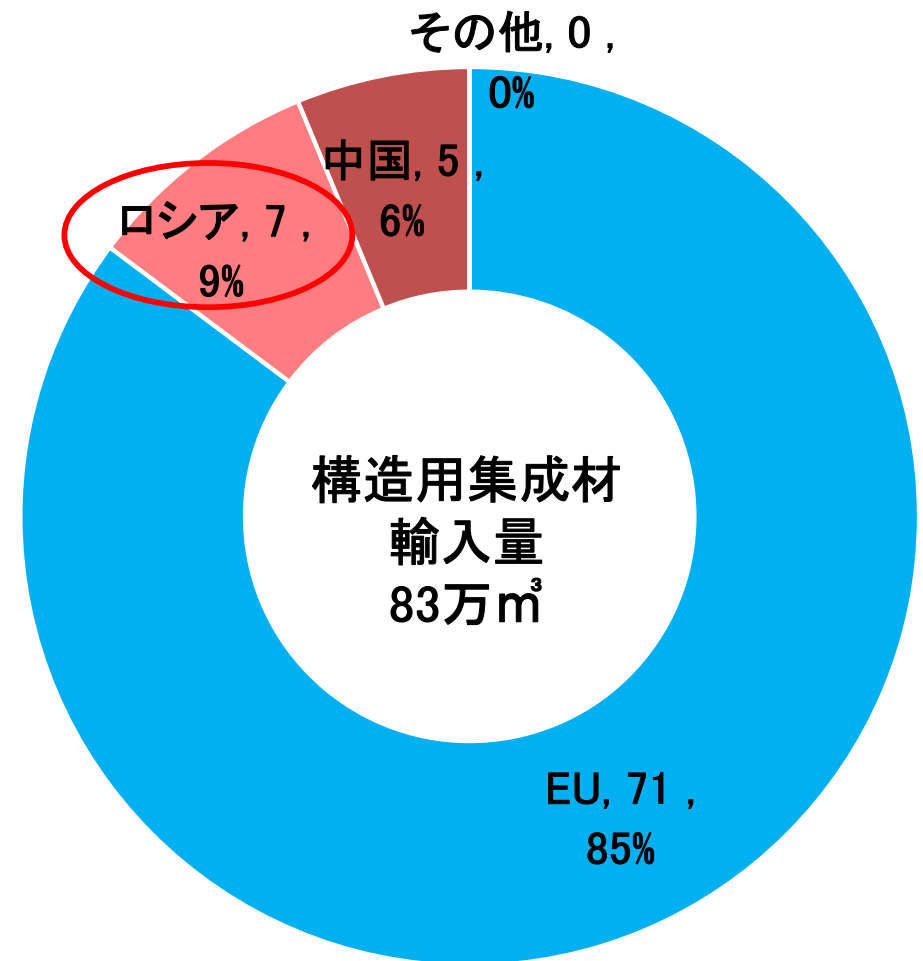


ロシアからの輸入量の推移(丸太、製材)

# 我が国の製材・構造用集成材の輸入量



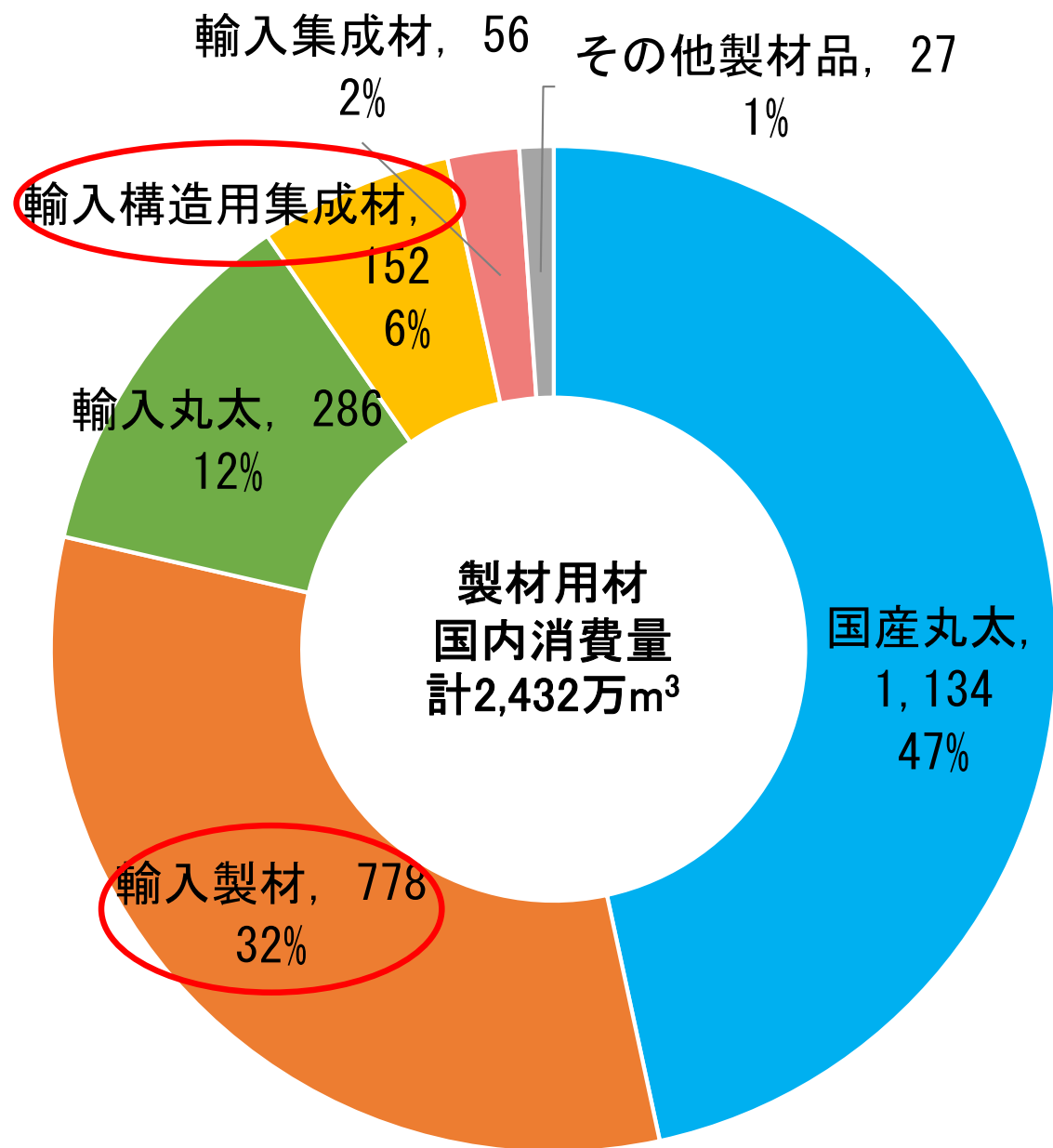
製材輸入量(2021年)



構造用集成材輸入量(2021年)

資料: 貿易統計のデータから木材貿易対策室作成。

# 国内の製材用材消費量内訳

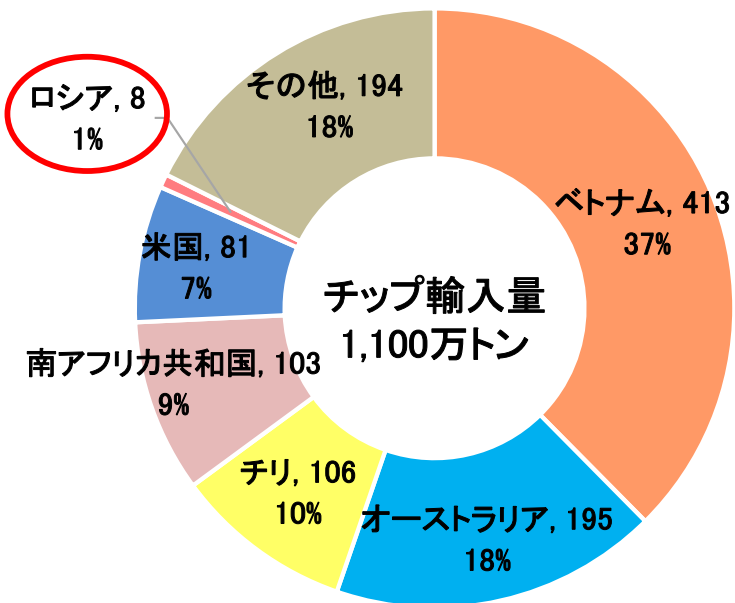


国内の製材用材消費量内訳(2020年)

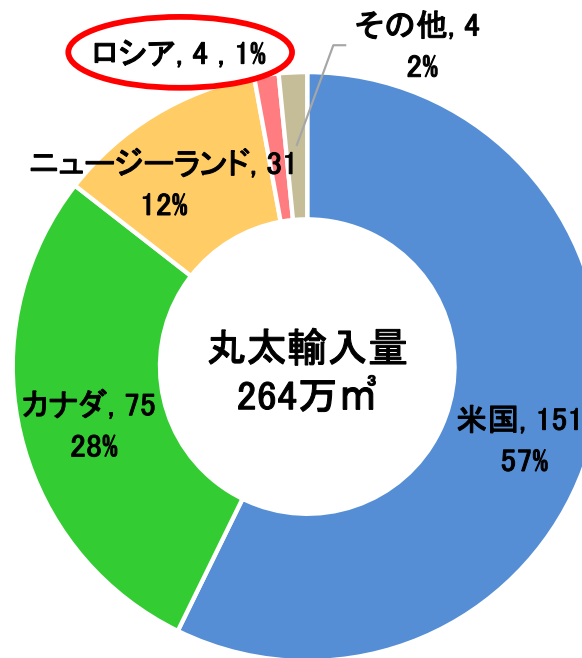
資料: 木材需給表

注: 消費量は丸太換算材積。

# 我が国のチップ、丸太、単板の輸入量

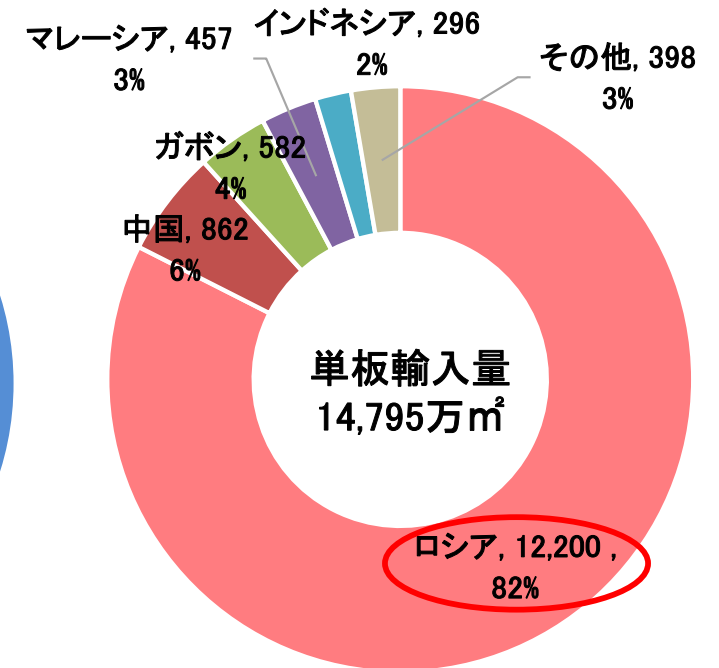


チップ輸入量(2021年)



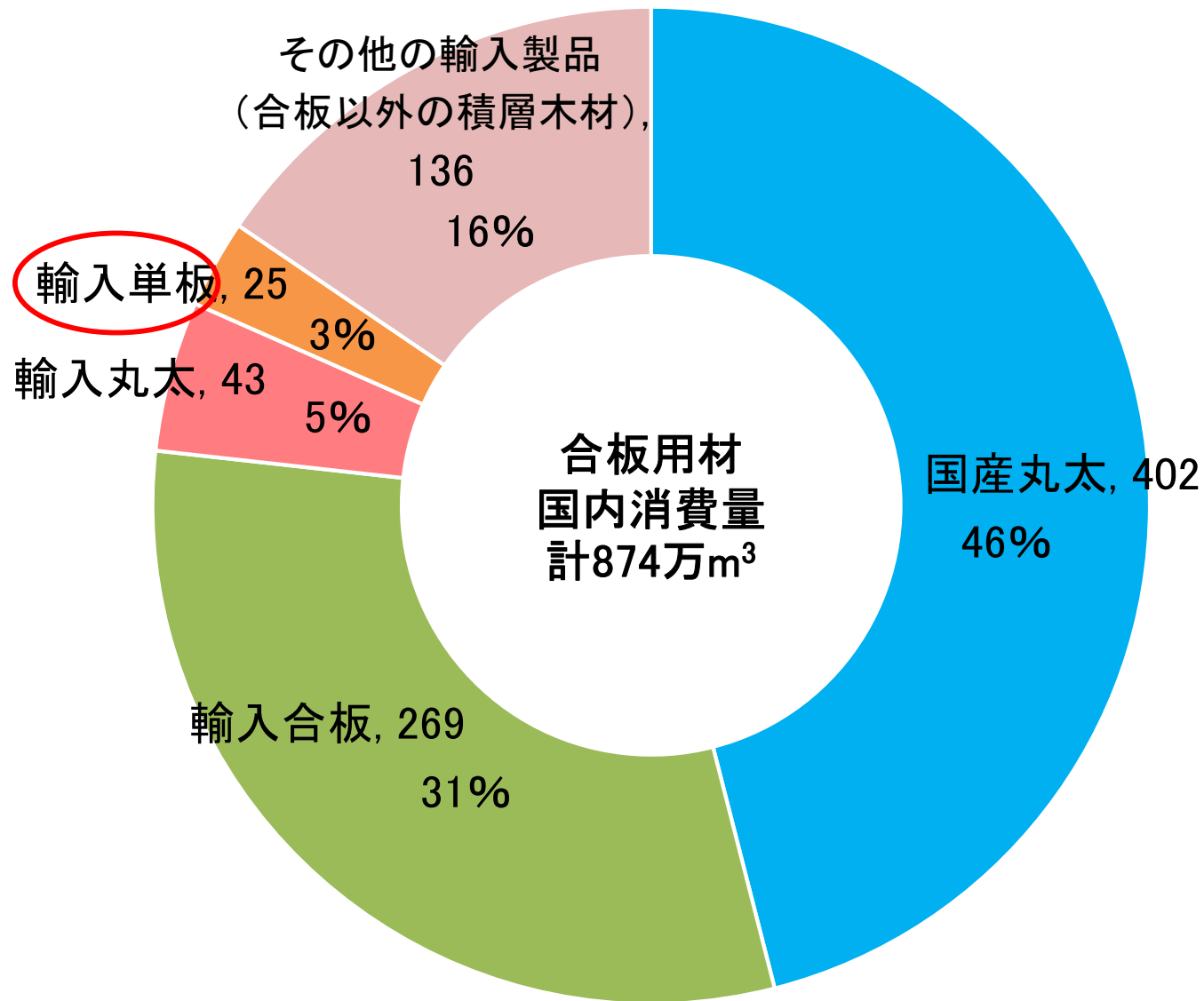
丸太輸入量(2021年)

※ロシアは2022年1月から  
丸太輸出を禁止。



単板輸入量(2021年)

# 国内の合板用材消費量内訳



国内の合板用材消費量内訳(2020年)

資料: 木材需給表

注: 消費量は丸太換算材積。

# 世界における木材貿易の流れ

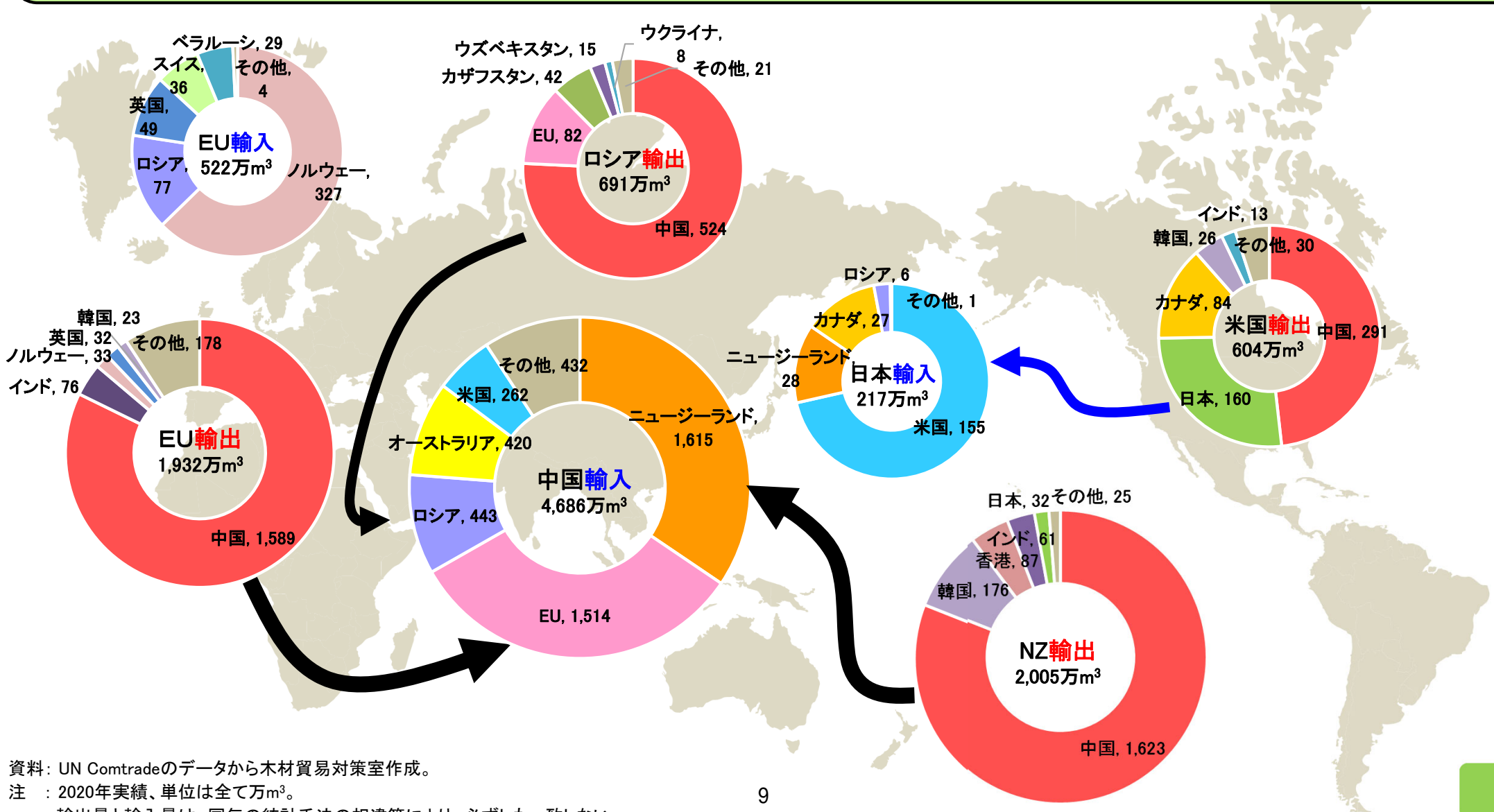
－針葉樹丸太、針葉樹製材、合板－

令和4年2月



# 1. 世界における針葉樹丸太の貿易

- 2020年における世界の針葉樹丸太輸出量は約9,800万m<sup>3</sup>。NZ(20%)、EU(20%)、ロシア(7%)、米国(6%)で全体の53%を占める。
- 同年における世界の針葉樹丸太輸入量は約1.03億m<sup>3</sup>。中国(45%)、EU(5%)で全体の50%を占める。
- 主な流れは、NZ→中国(1,600万m<sup>3</sup>程度)、EU→中国(1,500万m<sup>3</sup>程度)、ロシア→中国(500万m<sup>3</sup>)など。
- 日本の針葉樹丸太輸入量は217万m<sup>3</sup>で、世界の2%を占める。米国からの輸入が71%。



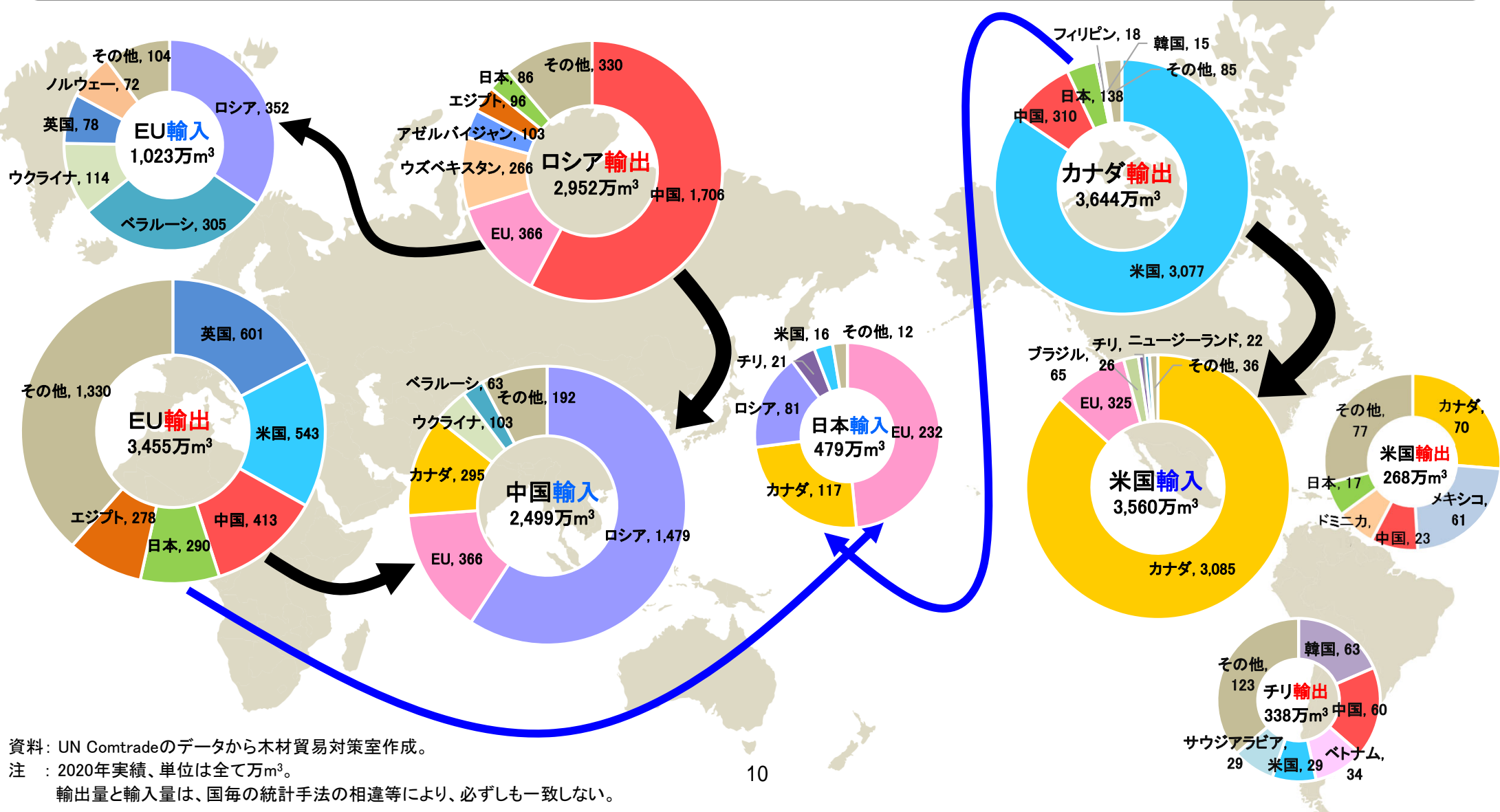
資料：UN Comtradeのデータから木材貿易対策室作成。

注：2020年実績、単位は全て万m<sup>3</sup>。

輸出量と輸入量は、国毎の統計手法の相違等により、必ずしも一致しない。

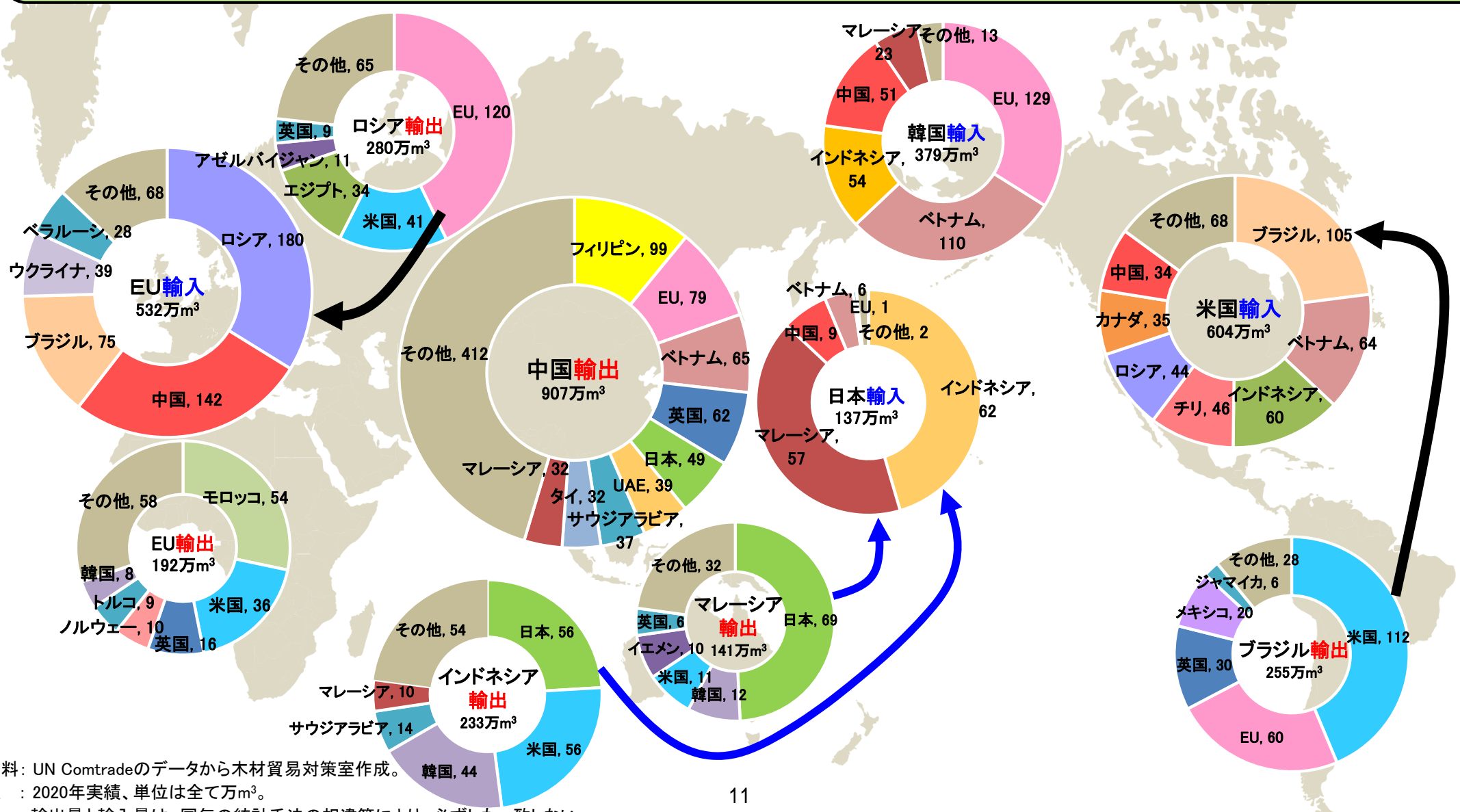
## 2. 世界における針葉樹製材の貿易

- 2020年における世界の針葉樹製材輸出量は約1.43億万m<sup>3</sup>。カナダ(25%)、EU(24%)、ロシア(21%)で全体の70%を占める。
- 同年における世界の針葉樹製材輸入量は約1.21億m<sup>3</sup>。米国(29%)、中国(21%)、EU(8%)で全体の58%を占める。
- 主な流れは、カナダ→米国(3,000万m<sup>3</sup>程度)、ロシア→中国(1,700万m<sup>3</sup>程度)、ロシア→EU(360万m<sup>3</sup>程度)、EU→中国(400万m<sup>3</sup>程度)など。
- 日本の輸入量は479万m<sup>3</sup>で、世界の4%を占める。EUからの輸入が48%、カナダが24%。



### 3. 世界における合板の貿易

- 2020年における世界の合板輸出量は約2,600万m<sup>3</sup>。中国(35%)、ロシア(11%)、ブラジル(10%)、インドネシア(9%)で全体の約65%を占める。
- 同年における世界の合板輸入量は約3,200万m<sup>3</sup>。米国(19%)、EU(17%)、韓国(12%)で全体の約48%を占める。
- 主な流れは、ロシア→EU(150万m<sup>3</sup>程度)、ブラジル→米国(110万m<sup>3</sup>程度)など。
- 日本の輸入量は137万m<sup>3</sup>で、世界の4%を占める。インドネシアからの輸入が45%、マレーシアが42%。



# 木材需給動向について (全国)

2022年3月  
林野庁

全国の木材需給動向について、  
林野庁ウェブサイト（下記URL）にて  
毎月資料を更新しています。  
[https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/r  
yutsu/kyougikai.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/r<br/>yutsu/kyougikai.html)  
（QRコードからもアクセスできます。）



さらに・・・

林産物に関するマンスリーレポート「モクレポ」  
木材・木材製品、特用林産に関する最新の統計  
データや、林野庁の施策に関するトピックス、セ  
ミナー・イベントの情報などを取りまとめ、毎月  
中旬に更新しています。  
[https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei  
/monthlyreport.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei<br/>/monthlyreport.html)



# 目次

---

## 1 価格の動向

### (1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

### (2) 製品価格

## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材（全国）

### (2) 合板（全国）

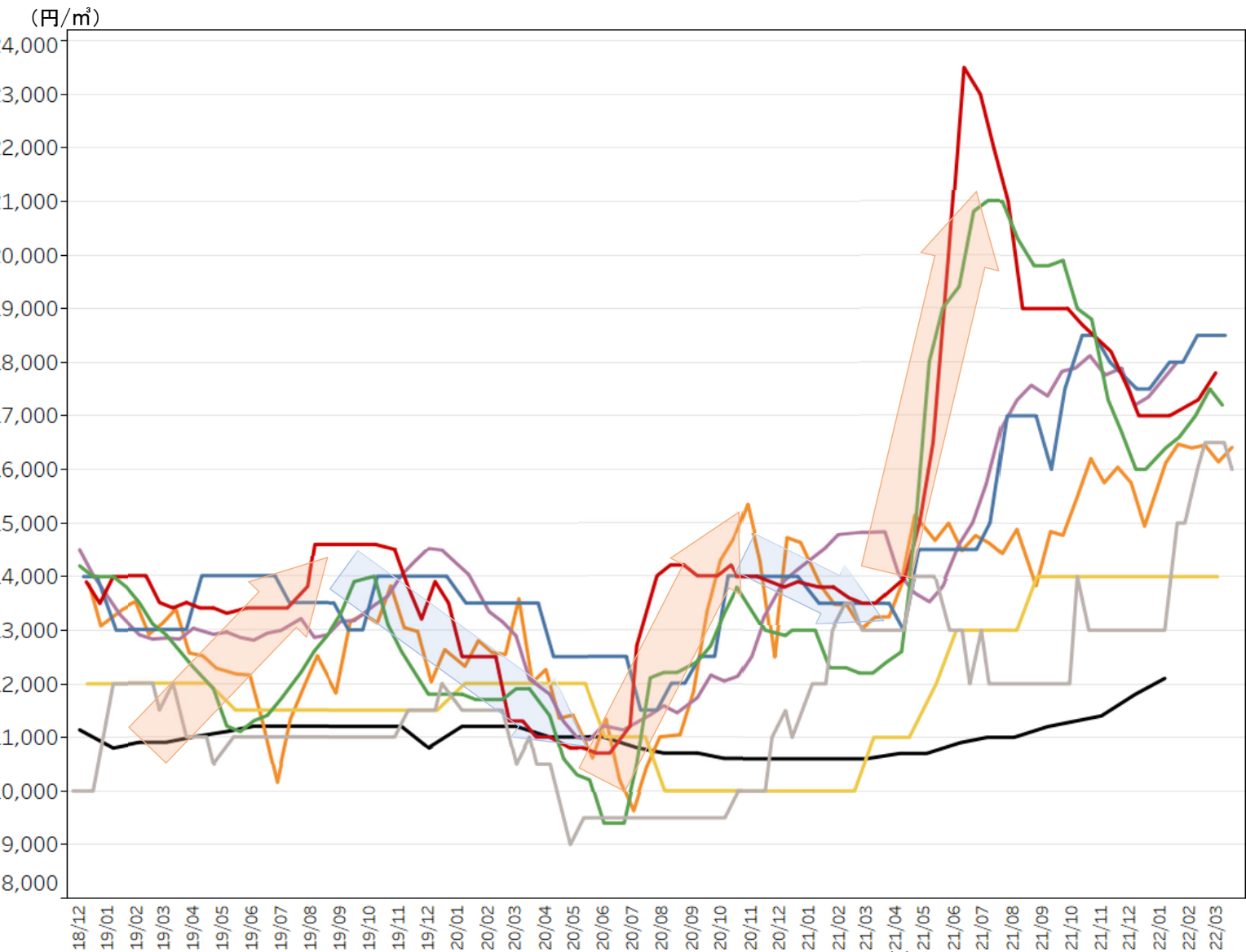
### (3) チップ（全国）

## 3 住宅着工戸数の動向

## 4 木材輸出量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)  
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2018年12月~)

- 例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が上昇。その後も高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比123%から141%となっている。



都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	12,100	10,600	114%
秋田県	17,980	14,520	124%
栃木県	16,410	13,250	124%
長野県	14,000	11,000	127%
岡山県	16,000	13,000	123%
高知県	18,500	13,500	137%
熊本県	17,800	13,500	132%
宮崎県	17,200	12,200	141%

※北海道及び秋田県については1月、熊本県については2月、栃木県、長野県、岡山県、高知県及び宮崎県については3月の値を使用。

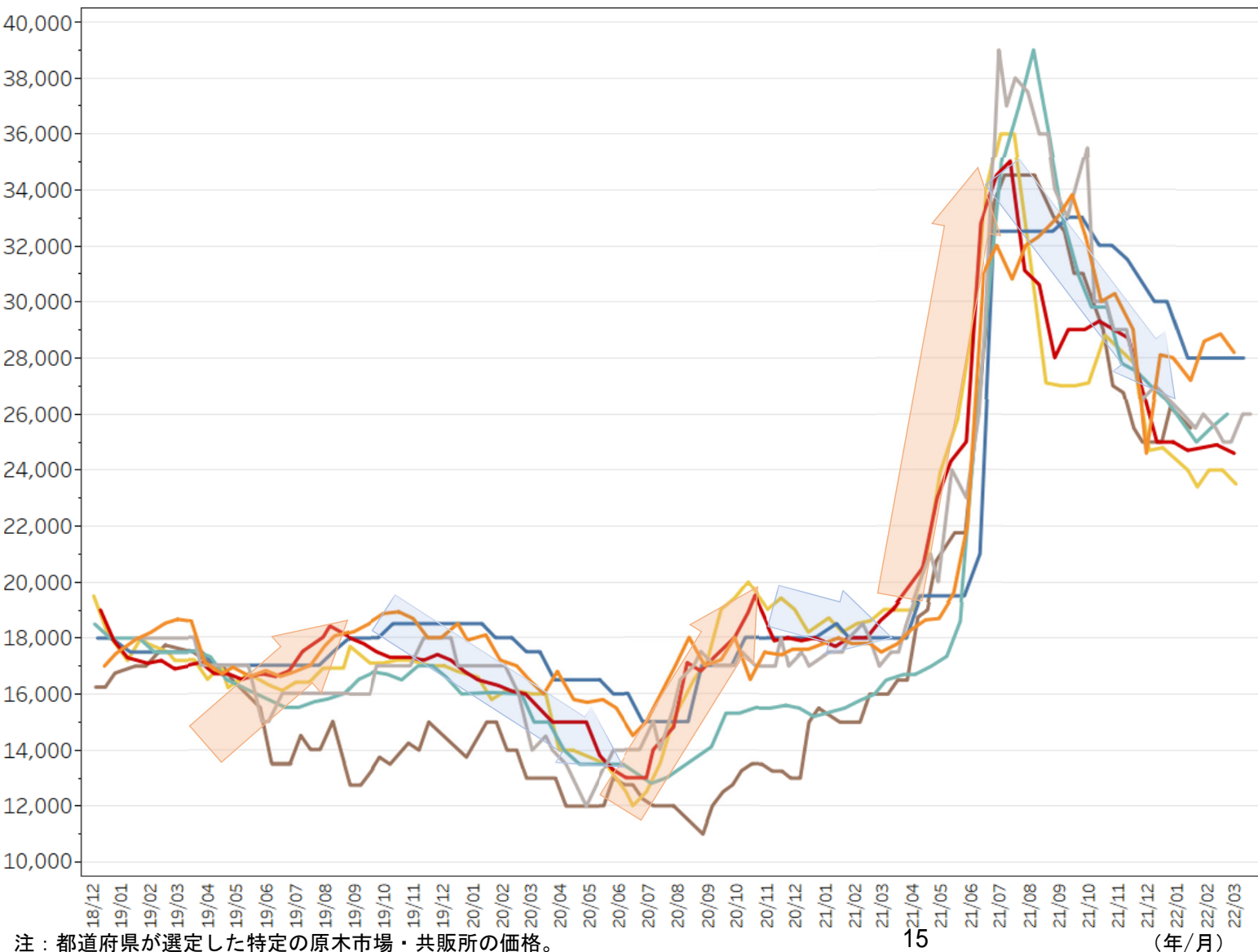
注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。  
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。  
資料：林野庁木材産業課調べ



## イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

- ・ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が大きく上昇。その後も、高い水準で推移。
- ・直近のヒノキ原木価格は、前年同期比124%から170%となっている。

（円/㎡）



都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
兵庫県	25,500	15,000	170%
岡山県	26,000	17,500	149%
広島県	26,000	16,000	163%
愛媛県	28,200	17,500	161%
高知県	28,000	18,000	156%
熊本県	24,600	18,600	132%
大分県	23,500	19,000	124%

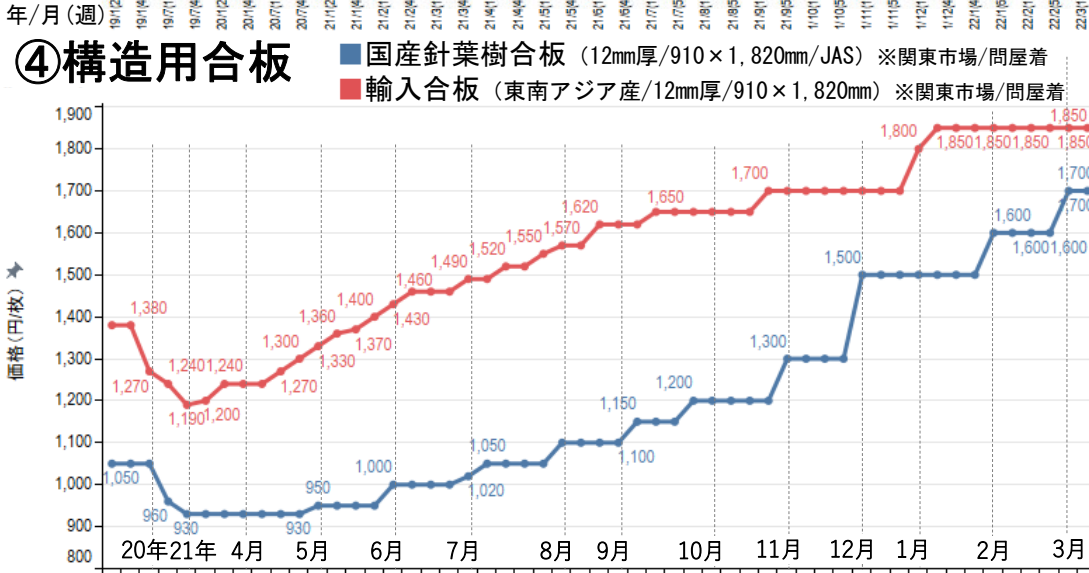
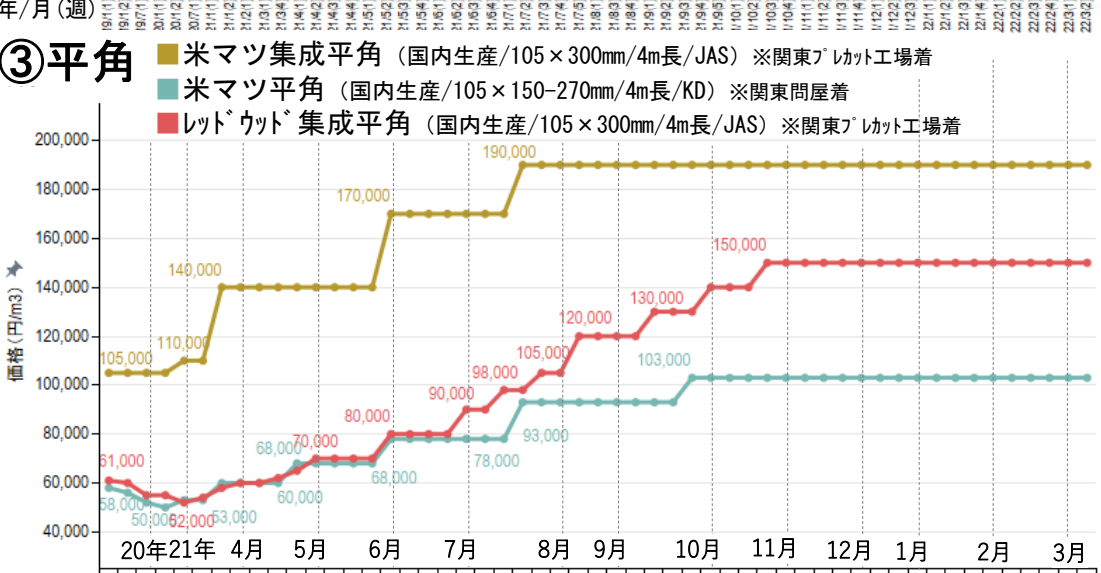
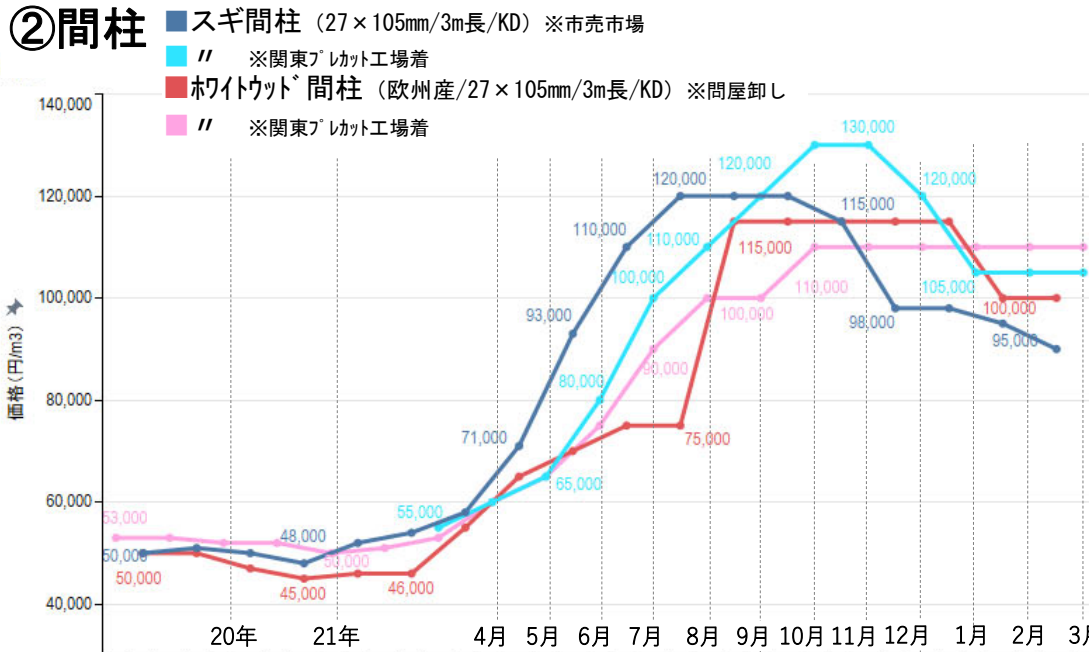
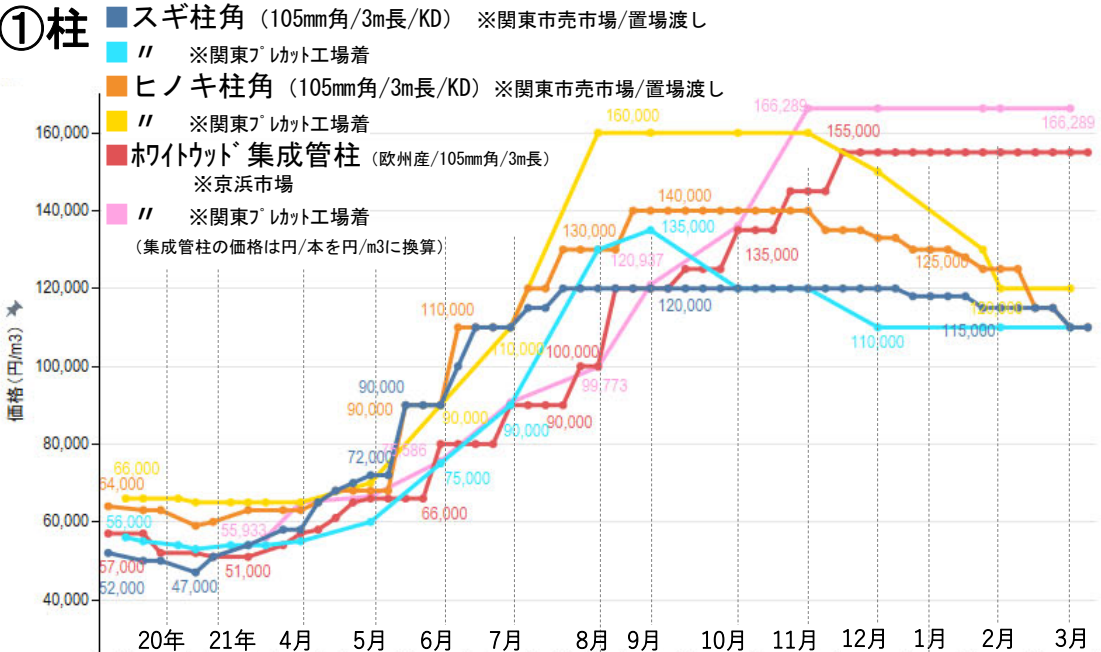
※兵庫県については1月、広島県、愛媛県、熊本県及び大分県については2月の値、岡山県及び高知県については3月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

資料：林野庁木材産業課調べ

## (2) 製品価格

- ・ 輸入材製品価格は、北米、中国、欧州など世界的な木材不足に加え、コンテナ不足による運送コストの増大等により高騰。
- ・ 国産材の代替需要により国産材製品価格も上昇し、直近では合板は上昇傾向、製材は高止まりか下落傾向となっている。



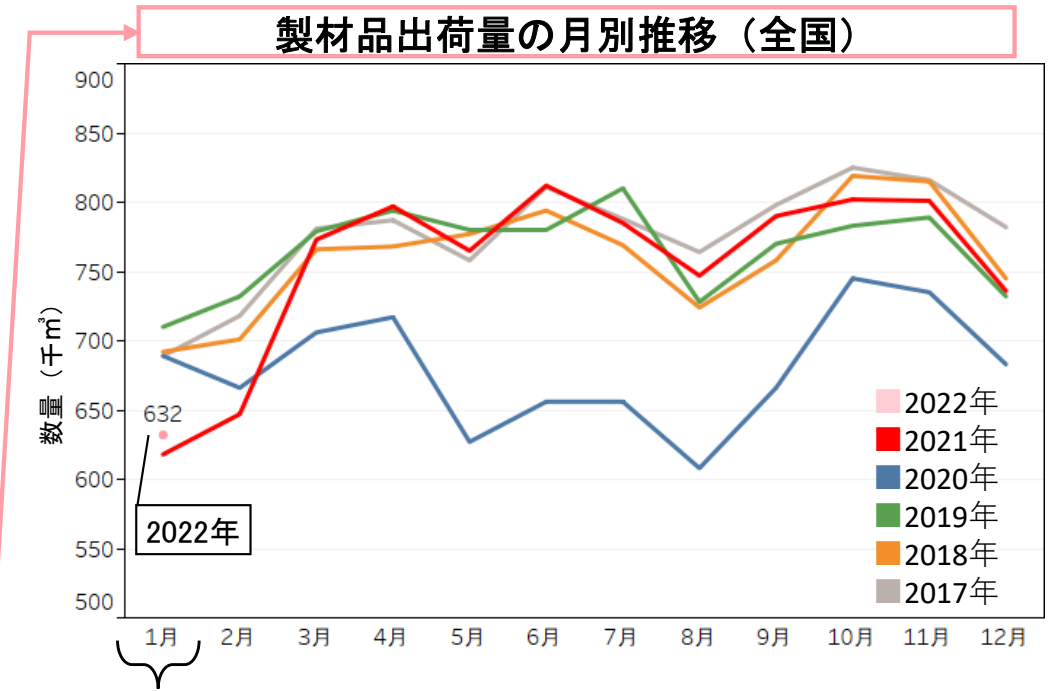
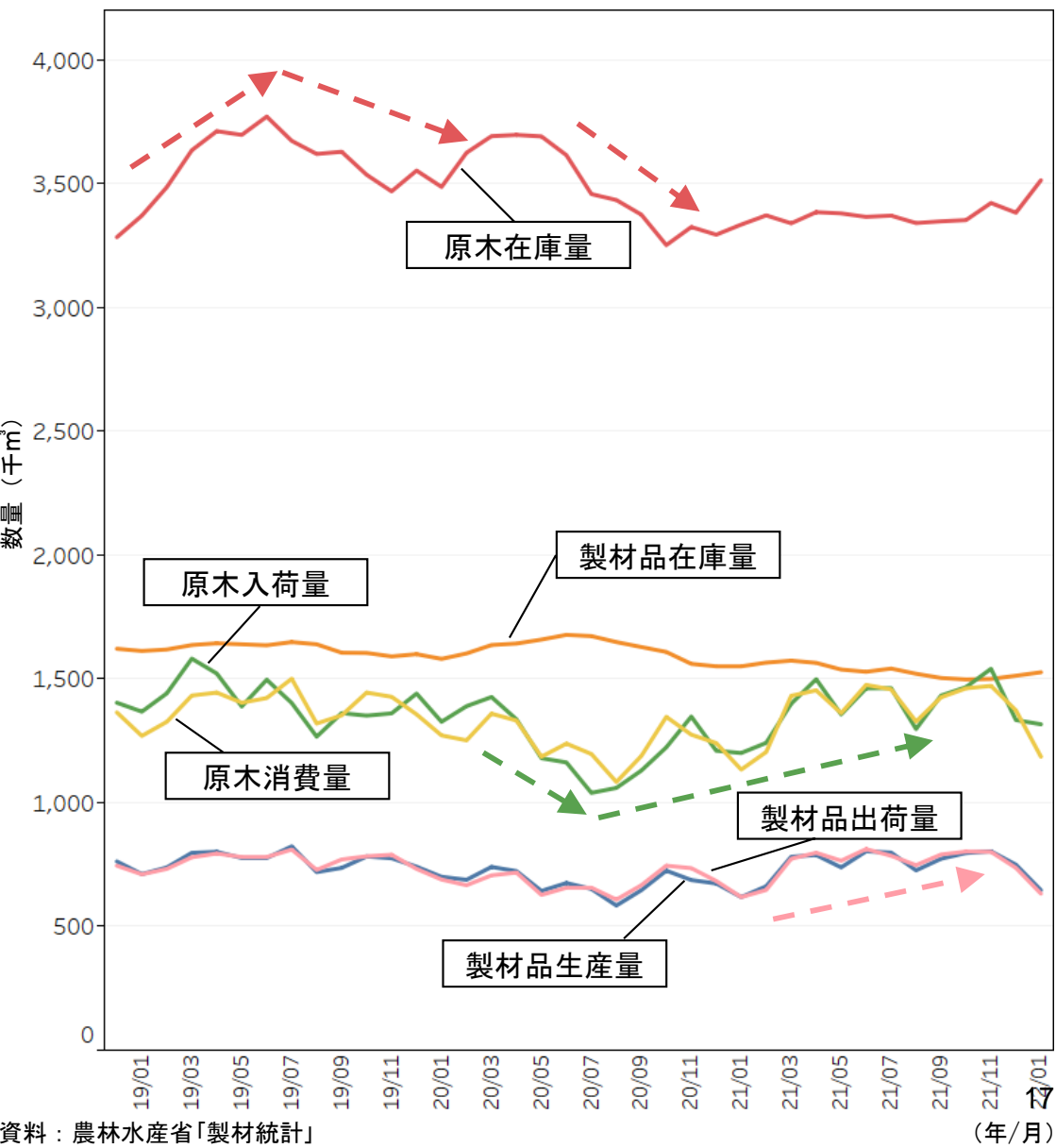
資料：①③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞



## 2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

### (1) 製材 (全国)

- 2022年1月の原木の入荷量は1,316千 $\text{m}^3$  (2019年比96%)。
- 同様に製材品の出荷量は632千 $\text{m}^3$  (2019年比89%)、コロナ禍前の水準以下となっている。

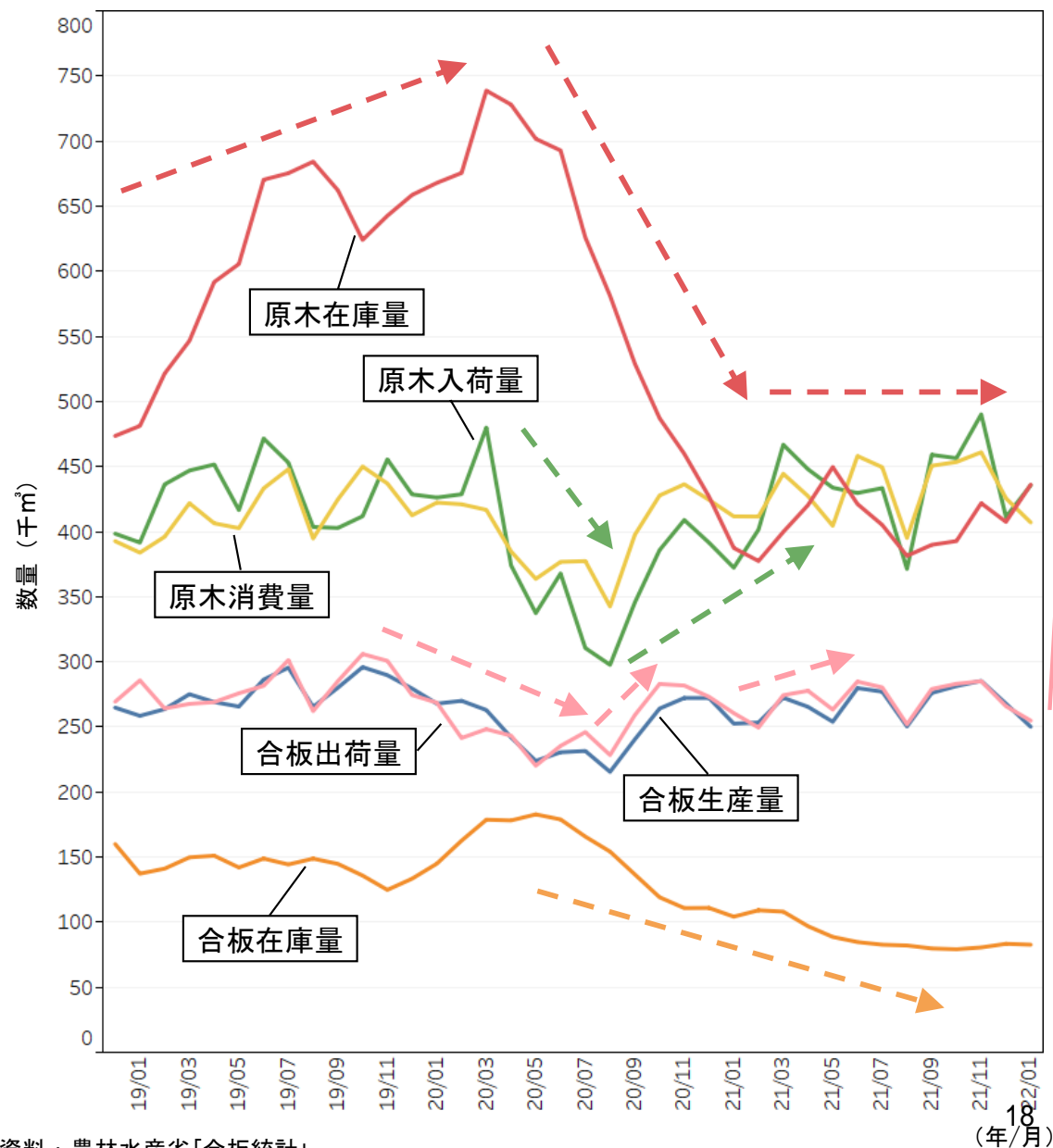


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月原木入荷 合計(千 $\text{m}^3$ )	1,254	1,335	1,367	1,326	1,200	1,316
2019年との比較*	92%	98%	—	97%	88%	96%
1月出荷量 合計(千 $\text{m}^3$ )	689	692	710	689	618	632
2019年との比較*	97%	97%	—	97%	87%	89%

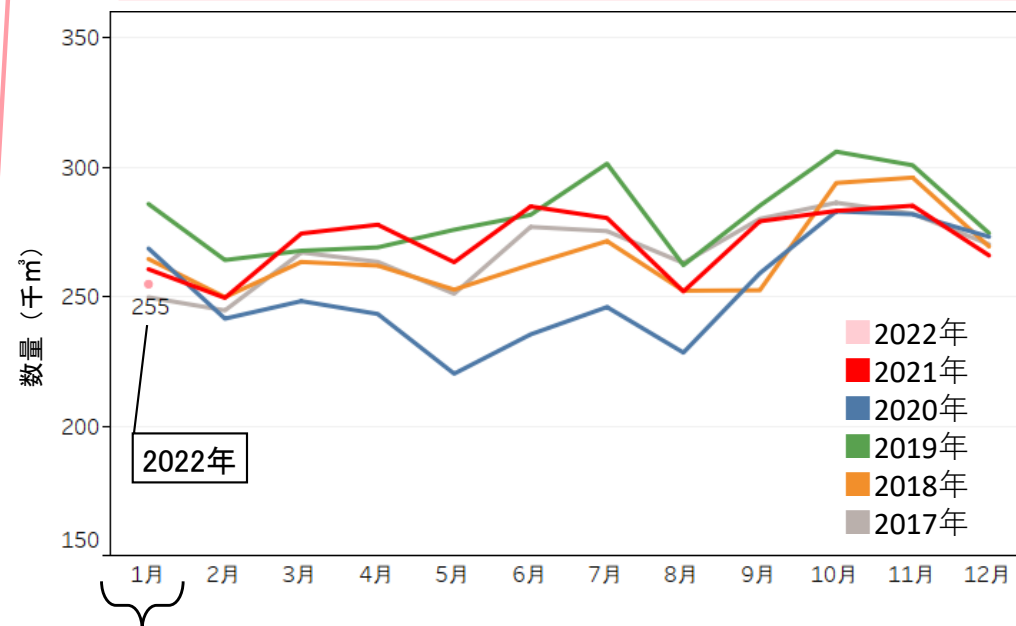
※2019年の数値を100%とした比較

## (2) 合板（全国）

- 2022年1月の原木の入荷量は436千 $\text{m}^3$ （2019年比111%）。在庫量は低い水準となっている。
- 同様に合板の出荷量は255千 $\text{m}^3$ （2019年比89%）、コロナ禍前の水準以下となっている。在庫量は2020年5月から減少傾向であったが、現在は低い水準で推移。



合板出荷量の月別推移（全国）

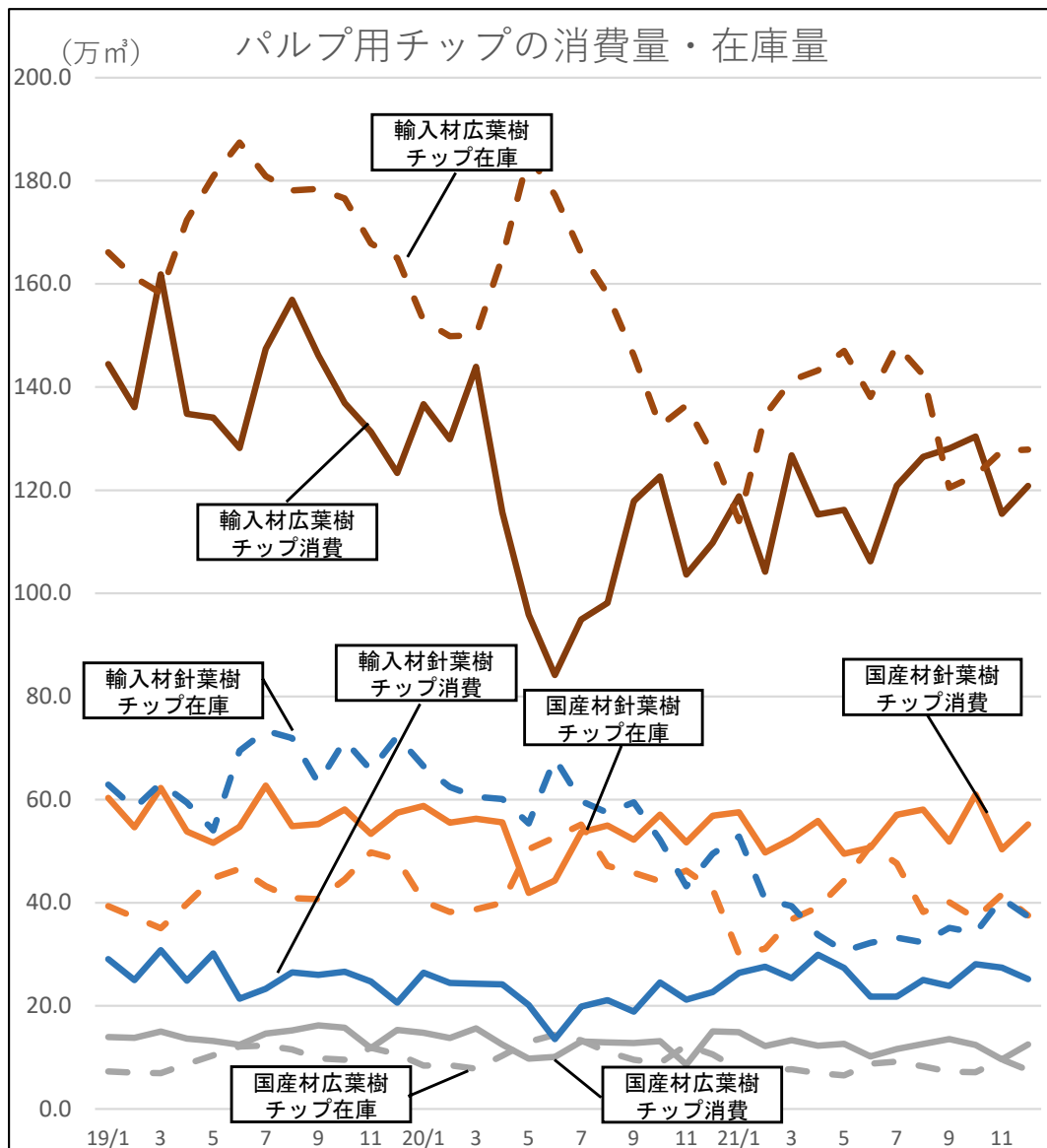


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1月原木入荷量 合計 (千 $\text{m}^3$ )	294	361	392	426	372	436
2019年との比較※	75%	92%	—	109%	95%	111%
1月出荷量 合計 (千 $\text{m}^3$ )	250	265	286	269	261	255
2019年との比較※	87%	93%	—	94%	91%	89%

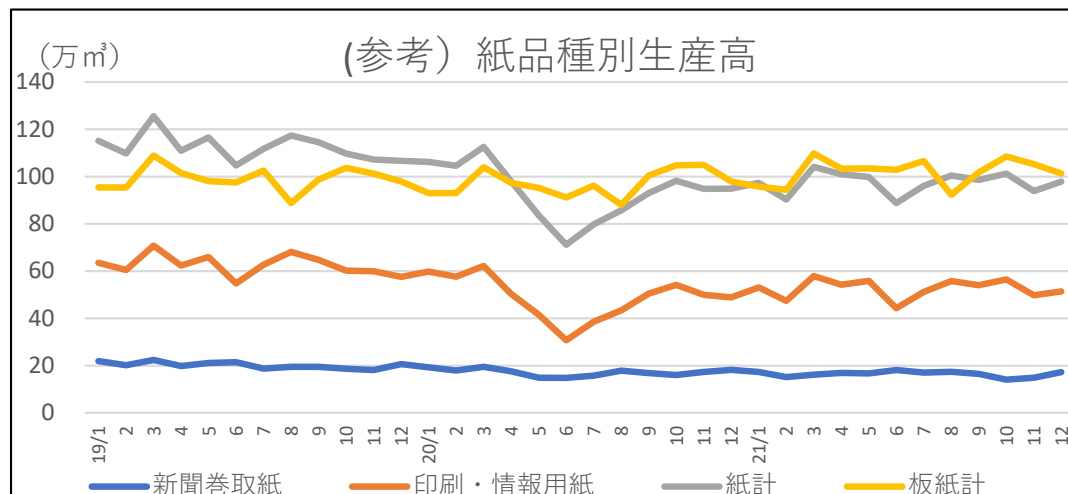
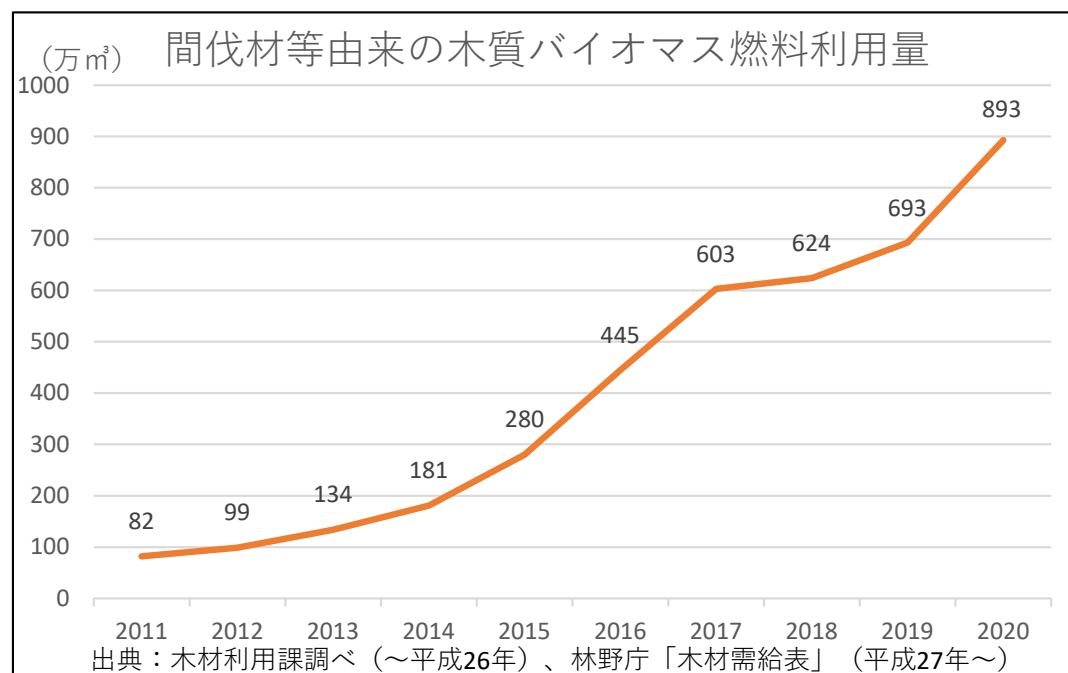
※2019年の数値を100%とした比較

### (3) チップ（全国）

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。
- 木質バイオマス発電向け燃料は、一貫して増加傾向が続いている。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。



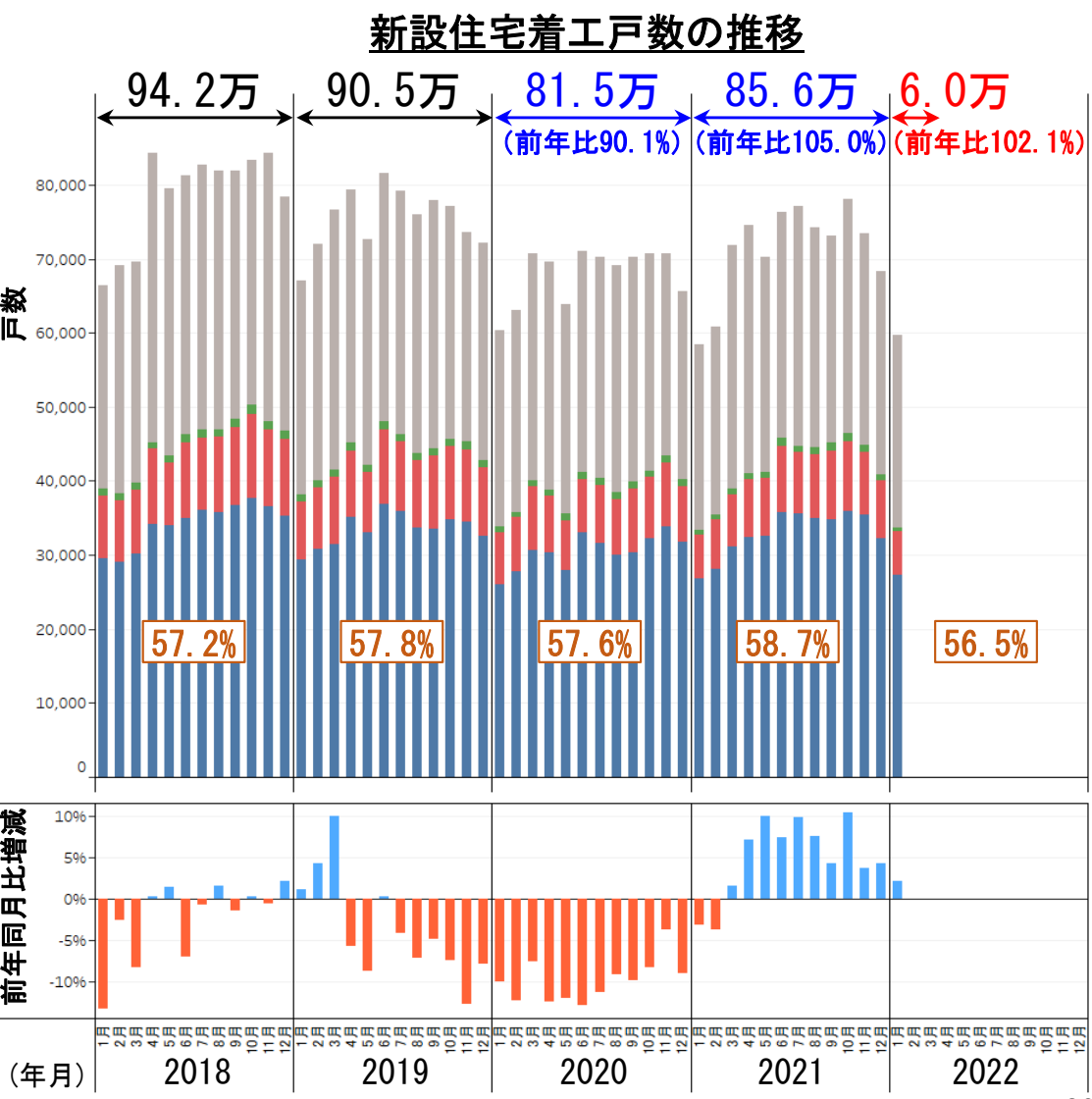
資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報  
紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」



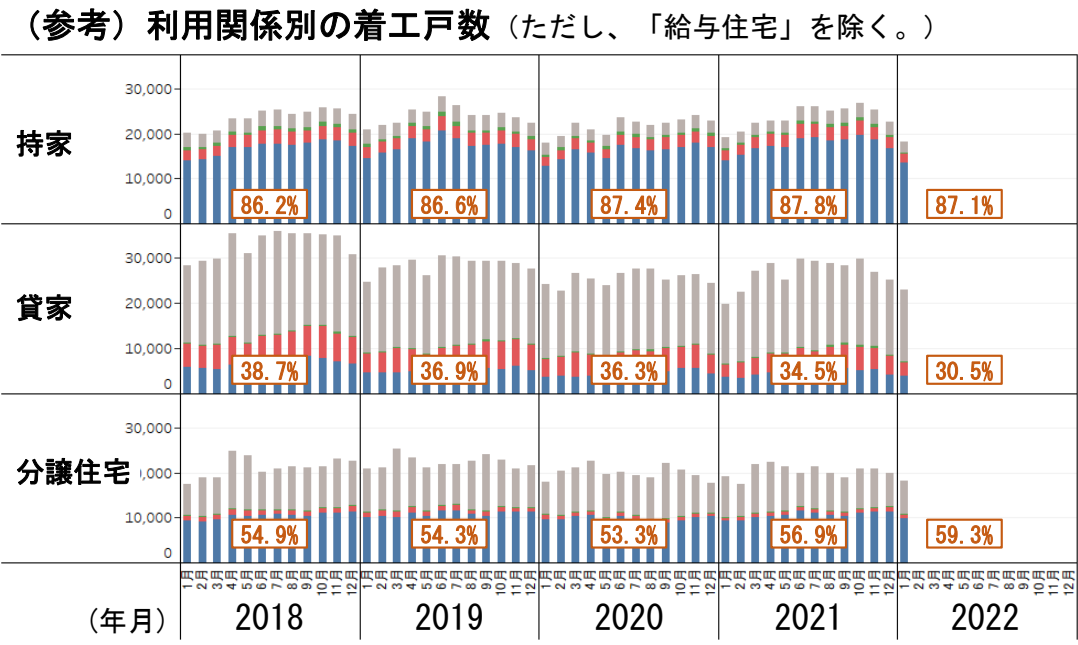
資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

3 住宅着工戸数の動向 (2018年1月～2022年1月)

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）となり、2020年からは増加したが、新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年の水準は下回った。
- 2022年1月の新設住宅着工戸数は、6.0万戸（前年同期比102.1%）、このうち木造住宅は3.4万戸（同100.9%）。



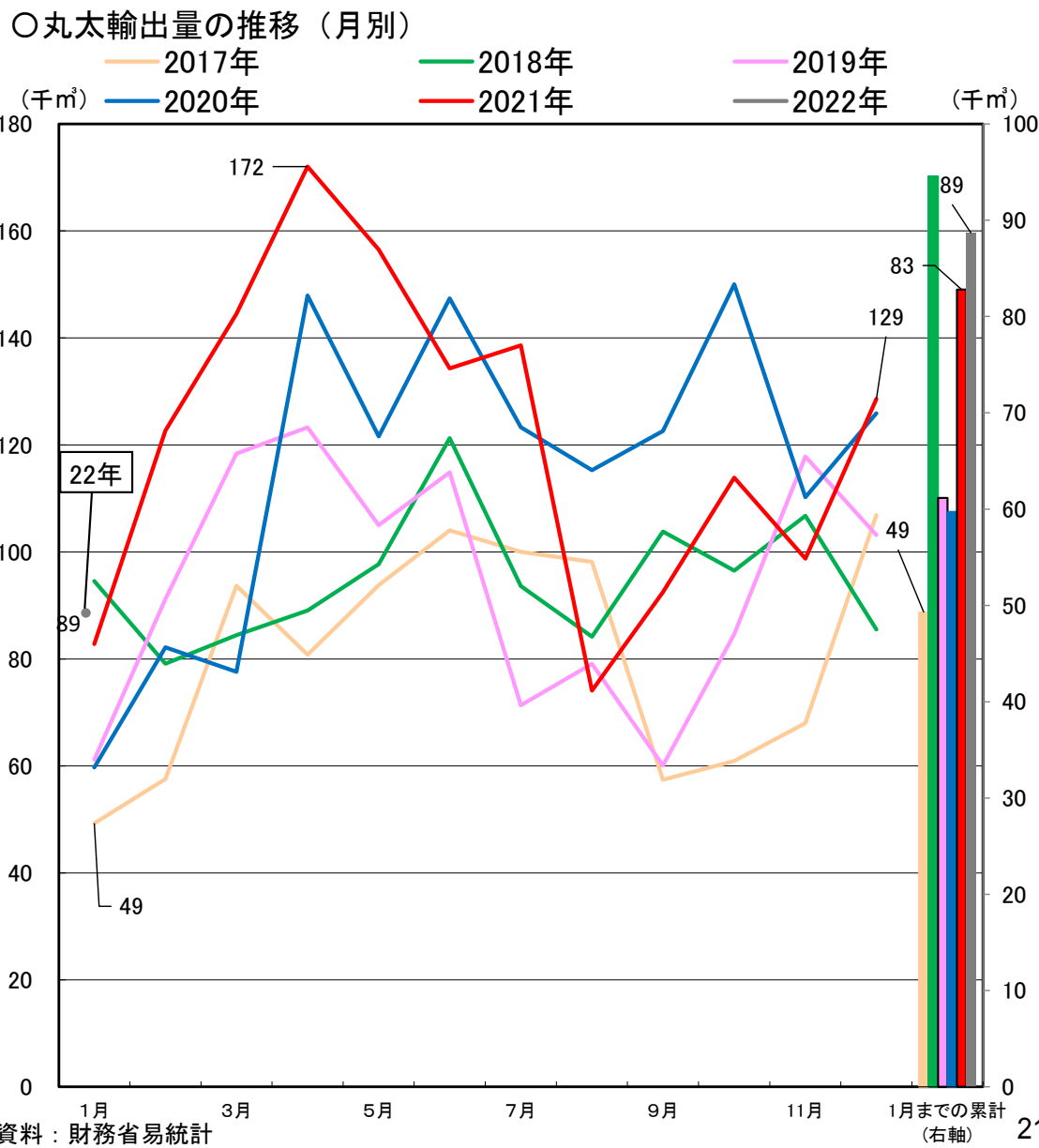
構造別の着工戸数	2022年 1月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	59,690	58,448	102.1%	60,341	98.9%
■非木造	25,976	25,048	103.7%	26,492	98.1%
木造	33,714	33,400	100.9%	33,849	99.6%
■木造プレハブ	552	638	86.5%	781	70.7%
■2×4	5,854	5,933	98.7%	7,013	83.5%
■在来軸組	27,308	26,829	101.8%	26,055	104.8%
□木造率	56.5%	57.1%		56.1%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出量

・ 令和4年1月の輸出量は丸太89千㎡（前年同月比107%）、製材15千㎡（前年同月比116%）、合板等10千㎡（前年同月比119%）となった。



○木材輸出量の状況（累計：主な国別・品目別）

輸出先	単月(1月)		
	主要品目内訳(千㎡)		
	前年比(%)		
	丸太	製材	合板等
中国	74 114%	6 147%	1 82%
韓国	8 83%	1 80%	0 37%
台湾	5 85%	1 125%	0 -
米国	0 -	3 71%	0 0%
フィリピン	0 -	5 221%	10 123%
総計	89 107%	15 116%	10 119%

○税関ごとの丸太輸出量

税関名	管轄※	合計(千㎡) (1月)	比率 (1月)
函館税関	北海道,青森,岩手,秋田	6.5	7.4%
東京税関	山形,群馬,埼玉,千葉,東京,新潟,山梨	0.5	0.5%
横浜税関	宮城,福島,茨城,栃木,千葉,神奈川	0.0	0.0%
名古屋税関	長野,岐阜,静岡,愛知,三重	0.1	0.1%
神戸税関	兵庫,鳥取,島根,岡山,広島,徳島,香川,愛媛,高知	0.2	0.2%
大阪税関	大阪,京都,和歌山,奈良,滋賀,福井,石川,富山	2.0	2.3%
門司税関	山口,福岡,佐賀,長崎,大分,宮崎	31.9	35.9%
長崎税関	福岡,佐賀,長崎,熊本,鹿児島	47.4	53.5%
沖縄地区税関	沖縄	0.0	0.0%

※木材の集荷範囲とは対応していない

## ロシアによる「非友好国」への単板等の輸出禁止

### 1. 措置の内容

- ・ 3月9日に、ロシア政府は、政令第313号「大統領令第100号を実施するための措置について」により、2022年末まで、我が国を含む「非友好国」に対して、チップ、丸太、単板を輸出禁止とすることを決定。(※3月8日に、非友好国向けの輸出禁止品目リストを公表すると予告されていたもの。)
- ・ 輸出禁止対象は、以下の通り。
  - ・ 4401.21 チップ（針葉樹のもの）
  - ・ 4401.22 チップ（針葉樹以外）
  - ・ 4403 丸太
  - ・ 4408 単板

### 2. 2021年の我が国輸入実績

- ・ 4401.21 チップ（針葉樹のもの）：8万トン（13億円）
  - ・ 4401.22 チップ（針葉樹以外）：実績なし
  - ・ 4403 丸太：3.6万m<sup>3</sup>（9億円）
  - ・ 4408 単板：24.4万m<sup>3</sup>（※2mm厚で換算）（85億円）
- （※ロシアからの木材輸入額総額：634億円）

### 3. 影響の可能性

- ・ チップは、輸入量合計（1,010万トン）の1%程度。
- ・ 丸太は、本年1月から、ロシアが輸出禁止を導入済み。
- ・ 単板は、輸入量（29.4万m<sup>3</sup>）の82%を占めるが、国内で流通する合板の原料全体に対しては2%程度。ロシア産の単板は、主にカラマツで、構造用合板のフェースバック用に使用。

（以上）

【政令本文（※機械翻訳による）】

ロシア政令第 313 号（2022 年 3 月 9 日）

2022 年 3 月 8 日付ロシア連邦大統領令第 100 号を実施するための措置について

2022 年 3 月 8 日付ロシア連邦大統領令第 100 号「ロシア連邦の安全を確保するための対外経済活動領域における特別経済措置の適用について」の第 1 項「a」および第 4 項に従い、ロシア連邦政府はここに決定する。

1. 付録No.1 に従ったリストと付録No.2 に従ったリストに従って、ロシア連邦の領土から外国国家と領土への商品の特定の種類の輸出の禁止を含む 2022 年 12 月 31 日まで導入する。
2. この政令の第 1 項に定める禁止事項は、以下には適用されないものとする。
  - ・ロシア連邦の領域から輸出され、ロシア連邦の領域外で開始および終了する国際的なトランジットトラフィック、および外国の領土を介してロシア連邦の領域の部分の間で輸送されるロシア連邦で発生した財のため。
  - ・外国の領土にあるロシア連邦の軍事組織の活動を支援するために、ロシア連邦の領土から輸出される財貨のため。
  - ・スピッツベルゲン群島におけるロシア連邦の組織の活動を支援するためにロシア連邦の領土から輸出される財貨のため。
  - ・個人で輸出される個人使用目的の商品。
3. 連邦税関は、この政令の第 1 項の規定の実施に対する管理を確実に行うものとする。
4. ロシア連邦内務省、ロシア連邦連邦保安庁国境警備局、ロシア連邦国家警備隊連邦サービスは、連邦税関がその権限の範囲内で関連する管理措置を実施するのを支援するものとする。
5. この政令は、その公布の日から効力を生ずる。



## 付録 1

### 特定の種類の貨物の輸出が禁止されている外国および地域

オーストラリア

アルバニア

アンドラ

イギリス（ジャージー島（英国王室属領）を含む）。ジャージー島（英国王室属領）

および管理海外領土（アンギラ島、英領バージン諸島、ジブラルタル）。

欧州連合加盟国

アイスランド

カナダ

リヒテンシュタイン

ミクロネシア

モナコ

モナコ

ノルウェー

大韓民国

サンマリノ

北マケドニア

シンガポール

アメリカ合衆国

台湾

ウクライナ

モンテネグロ

スイス

日本



## 付録 2

### 輸出禁止の対象となる特定の種類の貨物

4401 21 チップまたは削り屑の形の木材

4401 22

4403 未加工の木材で、樹皮または辺材が取り除かれているか、または取り除かれていないか、または粗く縁取られているか、または縁取られていないもの。

4408 単板（層状木材を分割して得られるものを含む）、合板又は類似の集成材及びその他の木材を製材又は縦割り、鉋掛け又は剥離し、未加工又は鉋掛け、サンディング、接合又は非接合により得られた厚さが 6mm 以下の板、面接合あり又はなしのもの。

ロシアからの主要な木材の輸入量・輸入額(2021年)

	品目	輸入量				輸入額(百万円)		
		単位	ロシア	世界	シェア	ロシア	世界	シェア
主な木材製品	丸太	CM	35,398	2,639,311	1.3%	939	85,394	1.1%
	製材	CM	846,215	4,830,259	17.5%	43,545	283,079	15.4%
	合板	CM	983	1,864,368	0.1%	110	121,667	0.1%
	チップ	MT	79,989	10,995,417	0.7%	1,348	213,359	0.6%
	集成材	CM	84,319	967,108	8.7%	5,537	65,193	8.5%
	(うち構造用集成材)	CM	71,047	831,747	8.5%	4,781	53,655	8.9%
	小計					51,478	768,692	6.7%
その他の品目	単板(HS4408)	SM	121,998,850	147,952,011	82.5%	8,486	14,055	60.4%
	木質ペレット(HS440131)	MT	102,212	3,116,523	3.3%	1,857	61,543	3.0%
	その他の木製品(HS4421)					888	69,285	1.3%
	さねはぎ加工(HS4409)					445	23,496	1.9%
	その他					244	289,209	0.1%
	小計					11,920	457,588	2.6%
総計						63,398	1,226,280	5.2%